



■ 水無月

今年は例年より早い雨の季節を迎えています。6月が梅雨の季節なのになぜ水の無い月と書くのか、という疑問には昨年の小紙6月号(JKR0406)で記しています。

地球温暖化による気候変動で、地球規模での気温上昇が懸念される中、雨の降り方も極端に変わってきているようです。梅雨時と言えば、かつては“しとしとと降る長雨”のイメージでしたが、最近では線状降水帯で連日の大雨や局地的なゲリラ豪雨などによる土砂崩れや洪水の被害が報道されています。世界を眺めてみても、雨季に入ったアジア近隣諸国で洪水が発生し、特にパキスタンでは国土の3分の1が洪水に見舞われたとの報道がありました。

国連が主導する気候変動枠組条約締約国会議(COP)では温室効果ガスの排出量抑制が主たる目標となっているようで、このような異常気象については因果関係がはっきりしていないと主張する国もあり議論が進まないのでしょう。温暖化ガスの排出抑制が経済発展のブレーキとなることを懸念する声もあります。

▽ 5月19日(金)～21日(日)にG7サミットが広島で開催されました。

事前に示されたG7における主要テーマは、覇権主義を高める中国への対応、核不拡散、経済、安保、気候変動、エネルギー、食糧、人権、生成AIなど様々であったが、何と言っても最重要課題はウクライナ問題でした。

オンライン参加と言われていたゼレンスキー大統領が直接参加となり、G7の関心事をひとり占めにしてしまったようでした。G7オブザーバー参加国首脳との直接会談も出来て最大の成果を得ることができたことでしょう。

ウクライナへの全面支援が決められたようですが前述の洪水被害を受けた国への支援はこの会議で検討されたのでしょうか。イタリアでも大洪水が起こりサミットに参加していたイタリアのメローニ首相は一足先に帰国しなければならない事態になってしまったようです。

<https://www.newsweekjapan.jp/worldvoice/vismoglie/2023/05/post-52.php>

最近国内で白昼堂々と物騒な事件が起きる中、世界の要人が集まる会場付近の警備は大変だったことでしょう。

右は夜通しサミット会场上空を巡回していた航空機の飛行軌跡です。サミットの無事終了で警備担当の人たちはホットしているでしょう。お疲れさまでした。



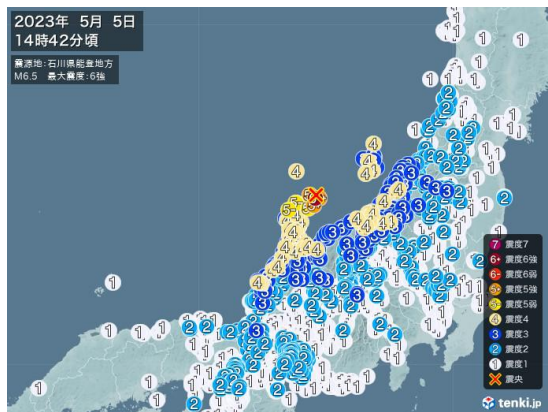
■ 活動報告「Online 会合(5/22)」

4月の会合で江戸時代に書かれた仮名文字(変体仮名)を読み解くことができる人はいないかと問いかけてきましたが、身近なところにはそのような人はいないようです。調べてみると、AIの活用はこの分野にも広がっているようで、スマホを利用して解読する方法があることもわかりました。先生がいなくても独学で読んでいくこともできそうです。報告は <http://jvc-senior.com/20230522online.pdf>



■ 石川県珠洲市で震度6強の地震

5月5日午後、石川県能登地方で最大震度6強の地震が発生しました。



図引用: 日本気象協会 Tenki.jp 地震情報 <https://earthquake.tenki.jp/bousai/earthquake/>

スマホに緊急地震速報の警告が表示され、テレビでもピンポン・ピンポンと心の奥底から不安をあおるような音が鳴りだしました。

気象庁の発表では地下深くに水が貯まって地面が揺れやすくなっているとの説明でした。

Tenki.jp の地震情報で5月に震度5弱以上の地震発生回数を調べてみたら、能登で3回、吐噺列島、新島・神津島近海に続き千葉で2回と合計7回も起きていて、過去の例から見ると短い期間において極めて回数が多いようです。

大地震の引き金とならないことを願うところです。

■ AI 悪用詐欺



こんなオレオレ詐欺の電話がかかってきたとき、電話を受けた人が声が違うと思っ

ても、すかさず相手は「風邪をひいているので…」などとごまかして悪事を働くのが従来の手口でした。

しかし、AIで音声生成機能も進展しています。本人の声を3秒ほど機械に聞かされただけでその人の声の特徴をつかみ、その後何を話しても本人によく似た声で聞こえるようにすることができます。これでは電話を受けた人は聞き分けが困難です。

勿論、詐欺電話をかける方も、手当たり次第に相手かまわず電話をかけることはできないが、声の特徴をとられてしまった人は注意が必要です。

AI技術の進展は映像も自由に作り替えられて、ネット画面上で、ゼレンスキー大統領が悲観した顔で「もう戦争は終わりにする」と発表したとか。もちろんこれはフェイク映像です。

生成AI「チャットGPT」の利用について各方面でその正しい利用基準の検討が進められています。効率的且つ便利に利用したいパソコンを悪事に使う輩も絶えない中、せっかく開発された生成AI技術が悪用されずに正しく有効に活用できるよう基準を整えていく必要があります。

■ 自動運転「レベル4」のバス

5月16日、ソフトバンクの子会社 BOLDLY はエストニア製の自動運転EV「MiCa(ミカ)」を日本に導入することを発表しました。 <https://ure.pia.co.jp/articles/-/1836822>



この記事にもある通り、茨城県境町では今年中にもこの新しいバスを導入する計画があるとのこと。町では現在 BOLDLY 社に委託して「レベル2」の自動運転で町内巡回バスを無料で運行させています。 <https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page002440.html>

上の欄でAIの悪用について述べましたが、これはまさしくAIの正しい利用方法の一つです。自動運転は国内でもいくつかの実施事例があるようですが、今後レベルを高め、広がっていくことが期待されます。

■ 事務局から

コロナは5類に引き下げられて、国内の感染者数の推移を見ることができなくなりました。真夏にもピークを迎えたことのあるコロナには引き続き注意しながら過ごしましょう。 事務局長 田代 周

